

【NO 487】

令和4年2月

## 佐世保港大型客船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会

### 1 委員会報告書概要

この委員会では、佐世保港三浦岸壁及び浦頭岸壁に18万総トン級の大型客船を受け入れる計画について、入出港及び係留の安全性に係る調査検討を行い、必要な航行安全対策を取りまとめた。

三浦岸壁においては平成29年度に、浦頭岸壁においては平成30年度に、それぞれ16万総トン級及び14万総トン級の大型客船の受入れに係る航行安全対策が検討・策定されているが、対象船舶の大型化に伴い、今回改めて必要な安全性の検討を行ったものである。

まず、入出港の安全性については、船体に作用する風圧力等の外力影響、岸壁の防舷材吸収エネルギー等を調査し、対象船舶の着離岸操船に必要な制御力及び許容される接岸速度について検討するとともに、ファストタイム操船シミュレーション手法を用いた操船局面毎の外力影響の傾向を把握したうえでビジュアル操船シミュレータ検証実験を実施し、対象船舶の入出港条件等を検討した。

また、係留中の安全性については、OCIMFの計算手法に基づいて、対象船舶の船体に作用する風圧力とその係留力との関係を確認し、安全に係留できる条件を導き出した。

### 2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 受入計画の概要
- (3) 航行環境
- (4) 検討課題の抽出及び検討方針
- (5) 港湾の施設の技術上の基準等による確認
- (6) 入出港の安全性に関する基礎検討
- (7) ファストタイム操船シミュレーション
- (8) ビジュアル操船シミュレータ実験
- (9) 入出港操船に関する安全性の検討
- (10) 係留の安全性の検討
- (11) 航行安全対策